

8 WebAccess

8.1 WebAccess とは

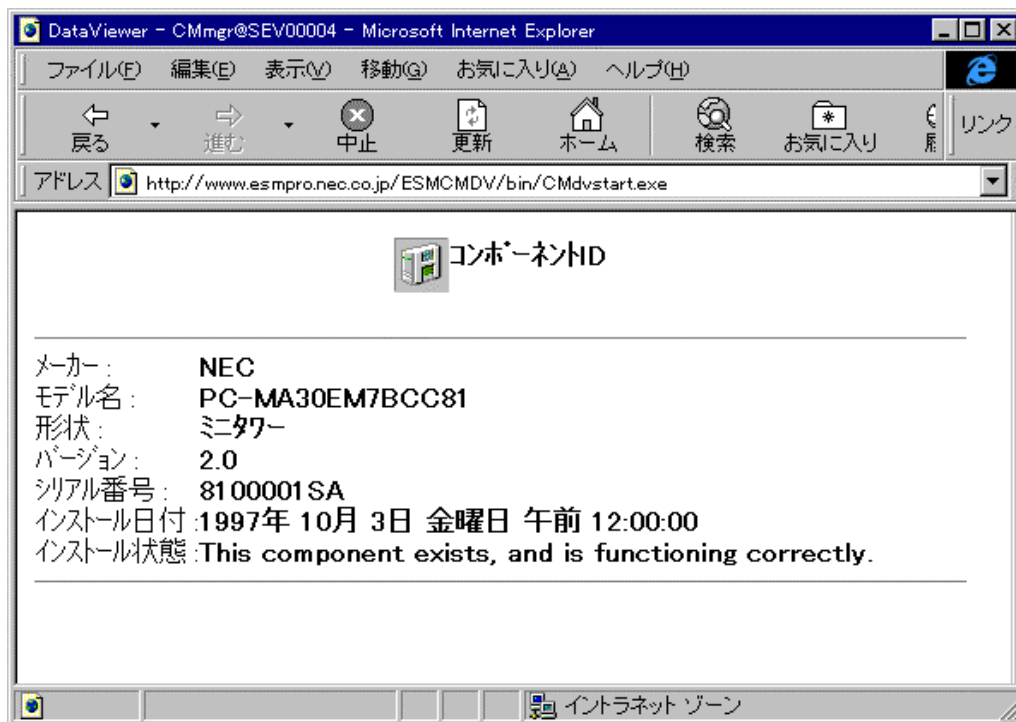
WebAccessは、インターネット上でWebブラウザからデータビューアの機能を利用するためのソフトウェアです。Webブラウザから、CMクライアントがインストールされたマシンの構成情報を参照することができます。また、ESMPRO/ServerManager ExtensionPackと連携することにより、Webブラウザから統合ビューアの機能を利用することができます。

8.1.1 機能概要

WebAccessは、Webブラウザにデータビューアおよびグラフビューアの画面を表示します。表示形式として「テキスト形式」、「2D-グラフィック形式」のうち、どちらかを選択することができます。

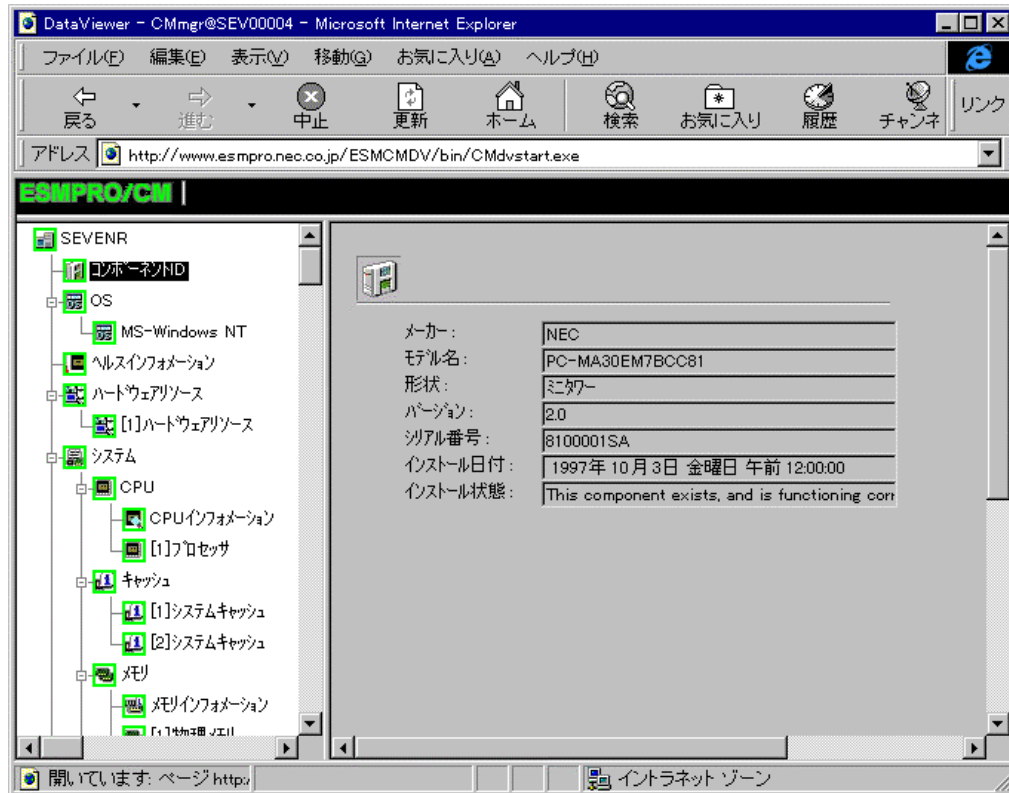
■テキスト形式

全ての情報をテキスト形式で表示します。Windows CEのようなモバイル端末で表示することも可能です。



■2D-グラフィック形式

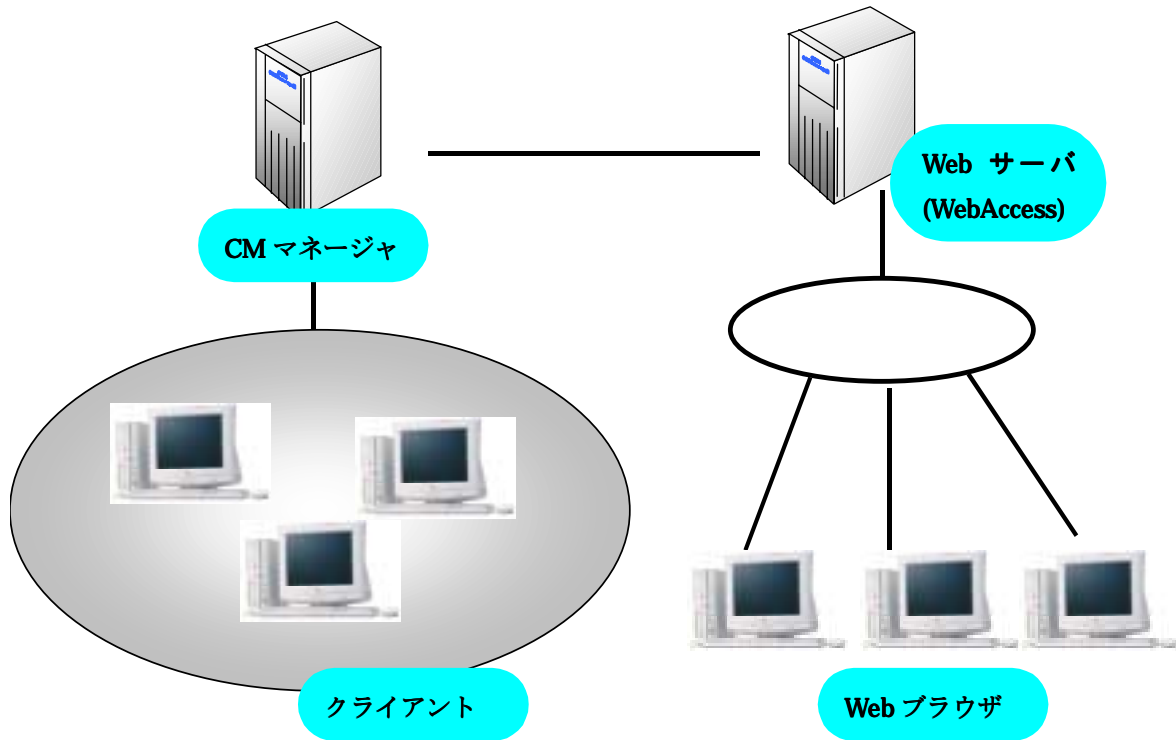
Javaアプレットを使用して、データビューアと同じインタフェースで表示します。



8.1.2 構成

CMマネージャがインストールされたマシン、WebAccessがインストールされたWWWサーバ、Webブラウザがインストールされたマシンより構成されます。

CMマネージャとWWWサーバは、同一マシンでもかまいません。



8.2 WebAccess のセットアップ

WebAccessをインストールするマシンには、既に以下のソフトウェアがインストールされていなければなりません。

- Microsoft Internet Information Server 2.0 以上
- 統合ビューアとの連携を行う場合は、CMマネージャおよびESMPRO/ ServerManager ExtensionPack

これらのソフトウェアのインストール方法については、それぞれのマニュアルをご覧ください。

WebAccessのインストールは、次の手順で行います。インストールは、必ずAdministratorsに属しているアカウントで行ってください。

- ① まず、WebAccessのセットアップツールを起動します。
 - (1) マネージャをセットアップしたディレクトリにある SETUP/WEB ディレクトリ配にある SETUP.EXEを起動してください。
 - (2) 「Express Server Startup CD-ROM Express5800/100シリーズ用 #1」と書かれているCD-ROM媒体のルートディレクトリに格納されているPPLIST.TXTを参照し、「ClientManager」が格納されているCD-ROM媒体を用意し、CD-ROMドライブに挿入します。セットアップツールは、そのCD-ROMの¥CLIENT¥NT95¥ESMCMM¥40¥Web¥Setup.exeに格納されています。
¥CLIENT¥NT95¥ESMCMM¥35¥Webディレクトリにある、Setup.exeを起動してください。
- ② ¥CLIENT¥NT95¥ESMCMM¥40¥Webディレクトリにある、Setup.exeを起動してください。
- ③ 「ようこそ」ダイアログボックスが表示されますので、<次へ(N)>ボタンを押してください。



- ④ 注意事項が表示されますので、内容を確認してから<次へ(N)>ボタンを押してください。



- ⑤ 「インストールディレクトリ設定」ダイアログボックスが表示されますので、WebAccessのインストール先を指定して、<次へ(N)>ボタンを押してください。



注意：ESMPRO/ServerManager ExtensionPackが既にインストールされている場合は、インストールディレクトリを指定することはできません。この場合のインストールディレクトリは、ESMPRO/ServerManager ExtensionPackのインストールディレクトリ配下に固定されます。

- ⑥ ファイルコピー等が終了すると、「CMマネージャ名の設定」ダイアログボックスが表示されますので、CMマネージャをセットアップしたマシン名またはIPアドレスを指定して、<次へ(N)>ボタンを押してください。ここで指定したマシン名が、構成情報を参照するCMマネージャの既定値となります。



注意：ここで指定するマシン名は、あくまで既定値です。複数台のCMマネージャを運用している場合、データビューと同じく、Webブラウザから別のCMマネージャ名を指定することも可能です。

ただし、ESMPRO/ServerManager ExtensionPackと連携して統合ビュー（オペレーションウィンドウ）のページからCMデータビューのページを表示する場合は、必ずここで指定したCMマネージャから構成情報を取得します。別のCMマネージャを使用する場合は、統合ビューのページからではなく、CMデータビューのページを直接表示してください。

- ⑦ これでセットアップは完了です。システムを再起動してください。

8.3 WebAccess のアンインストール

アンインストールは、必ずAdministratorsに属しているアカウントで行ってください。

- ① [スタート] メニューから、[設定] - [コントロールパネル(C)] を選択し、[コントロールパネル] フォルダを表示してください。
- ② [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックし、[アプリケーションの追加と削除プロパティ] ダイアログボックスを表示してください。
- ③ [インストールと削除] タブに表示されているソフトウェアの一覧から「ESMPRO/CM WebAccess」を選択し、<追加と削除(R)>ボタンを押してください。
- ④ [ファイル削除の確認] ダイアログボックスが表示されますので、<はい(Y)>ボタンを押してください。
- ⑤ [コンピュータからプログラムを削除] ダイアログボックスが表示され、アンインストールが実行されます。アンインストールが終了しましたら、<OK>ボタンを押してください。

8.4 WebAccess を使う

8.4.1 WebAccess の開始

ブラウザを起動し、URLを次のように設定してください。WebAccessのスタートページが表示されます。

<http://Server-name/ESMCMDV/index.html>

(“Server-name”には、WebAccessをインストールしているサーバ名を指定してください。)

サーバにESMPRO/SM ExtensionPackがインストールされている場合、統合ビューア（オペレーションウィンドウ）のページからデータビューアのページを表示することもできます。「8.5 ESMPRO/ServerManager ExtensionPackとの連携」を参照してください。

8.4.2 スタートページ

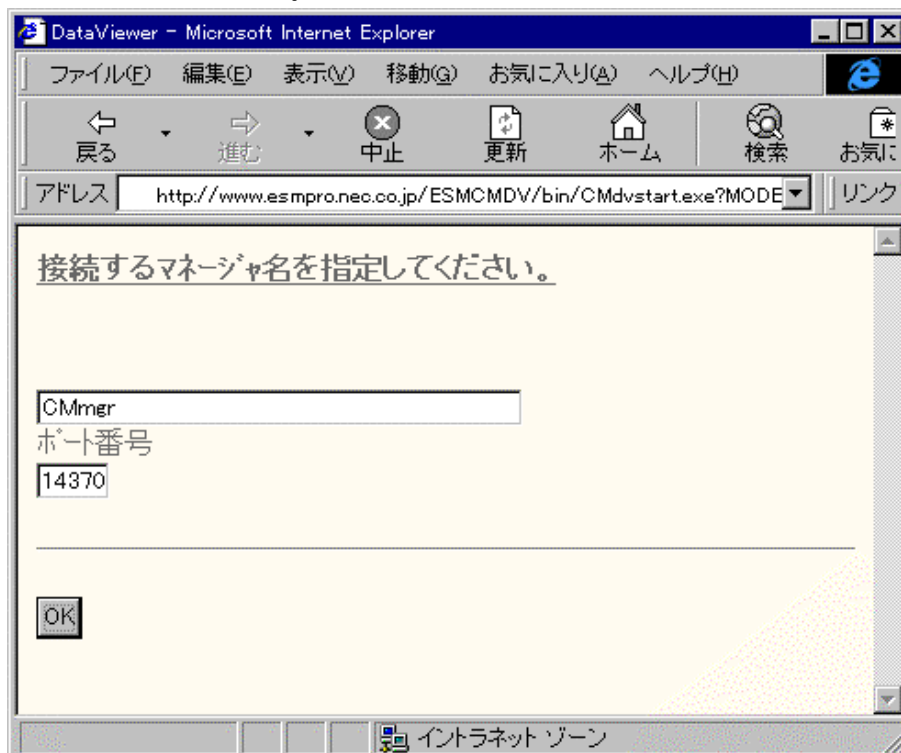
スタートページでは、表示形式（テキスト形式／2D-グラフィック形式）を選択する画面が表示されます。表示形式を選択してください。



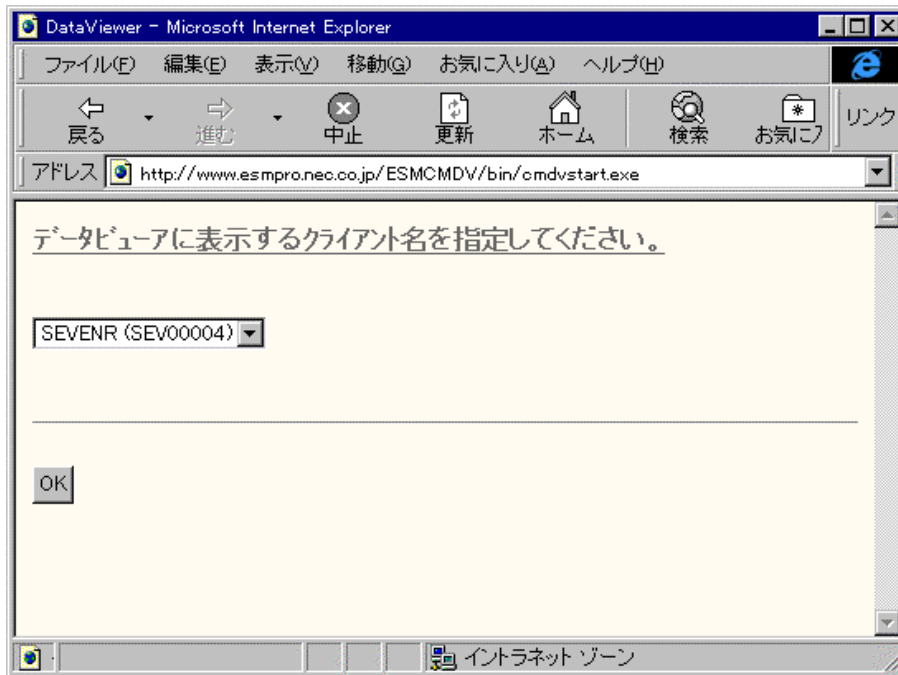
8.4.3 データビューア（テキスト形式）

全ての情報をテキスト形式で表示します。次の手順でデータビューアのページにアクセスしてください。

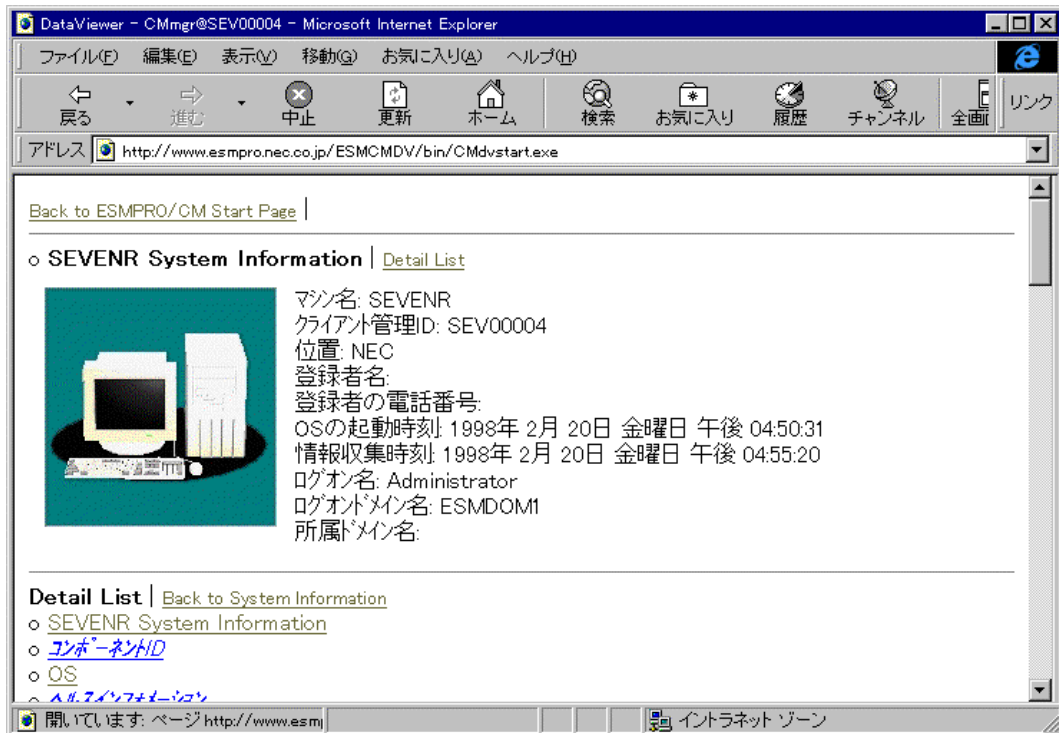
1. スタートページで“テキスト形式”を選択してください。
2. CMマネージャがセットアップされているマシン名およびポート番号を入力し、<OK>ボタンを押してください。ポート番号は、CMマネージャ側の設定を変更していなければ、既定値のままにしてください。



3. 構成情報を表示するクライアントを選択し、<OK>ボタンを押してください。

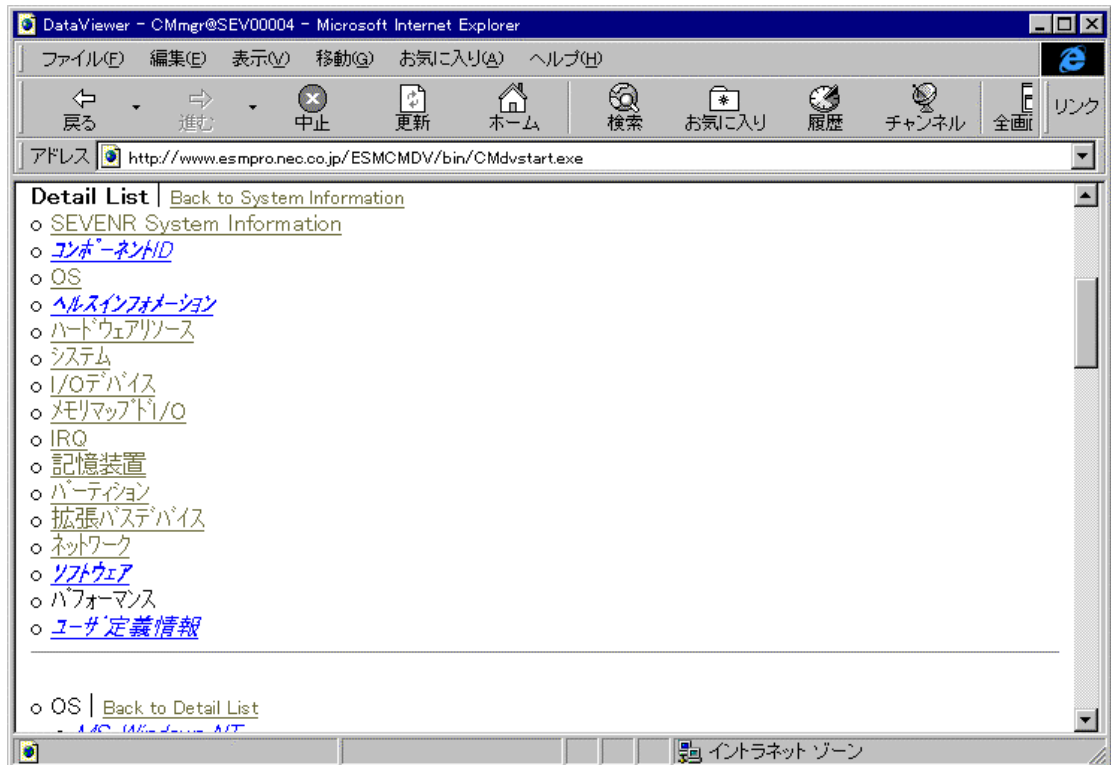


4. 次のようなページが表示されます。



画面上部の“Back to ESMPRO/CM Start Page”をクリックするとスタートページに戻ることができます。

5. “Detail List” をクリックするか画面を下方にスクロールさせると、構成情報の項目リストが現れます。



6. 下線のついた項目をクリックすると、その項目の情報ページにジャンプします。例えば、“コンポーネントID”を選択すると、次のような画面が表示されます。

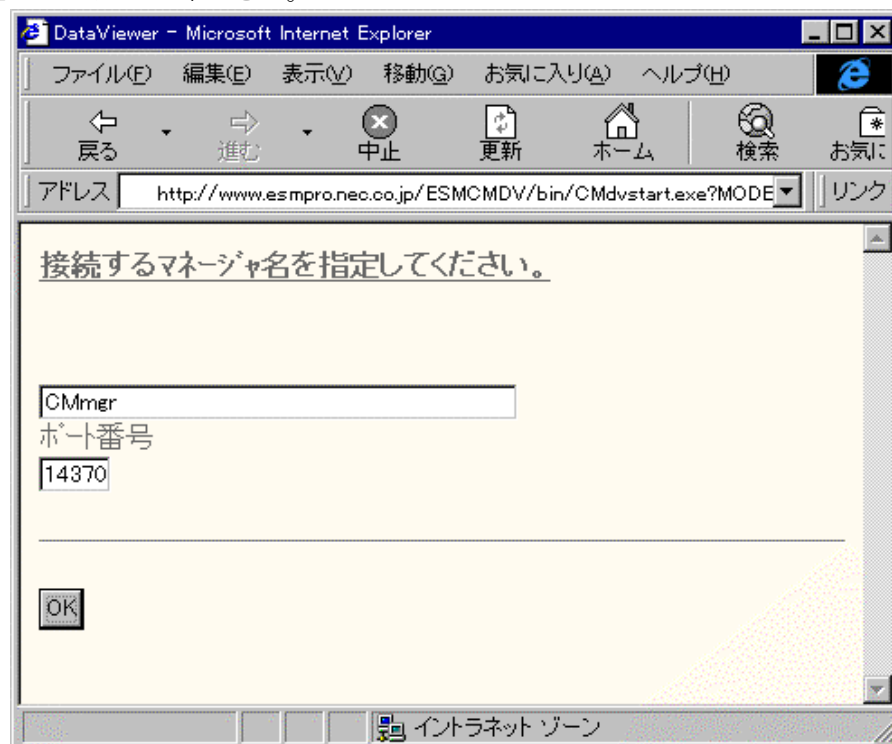


各項目の説明については、「6.3 クライアント情報」を参照してください。

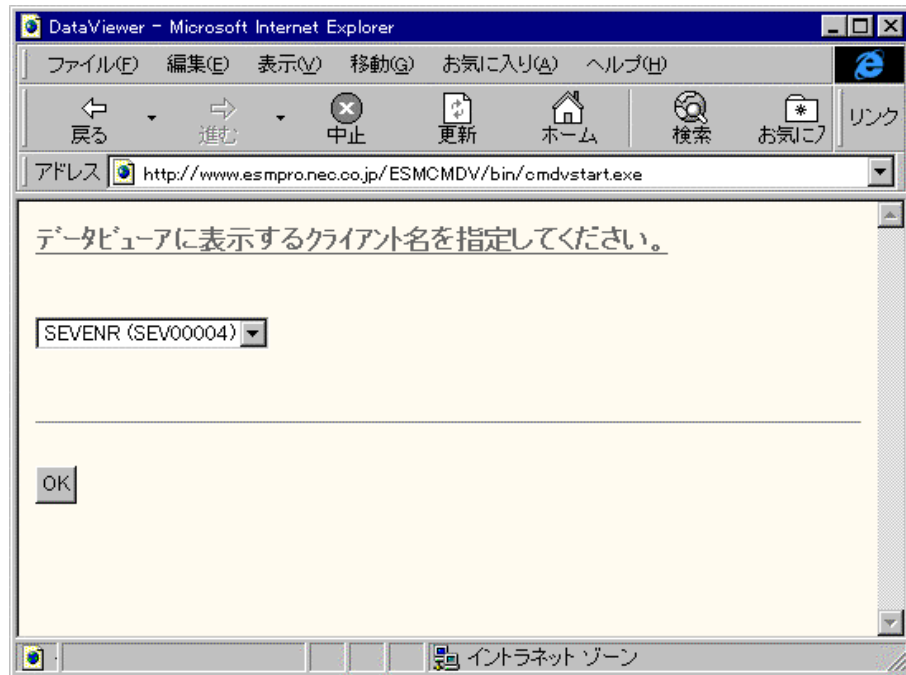
8.4.4 データビューア（2D-グラフィック形式）

全ての情報を、Javaアプレットを使用してデータビューアと同じインタフェースで表示します。
次の手順でデータビューアのページにアクセスしてください。

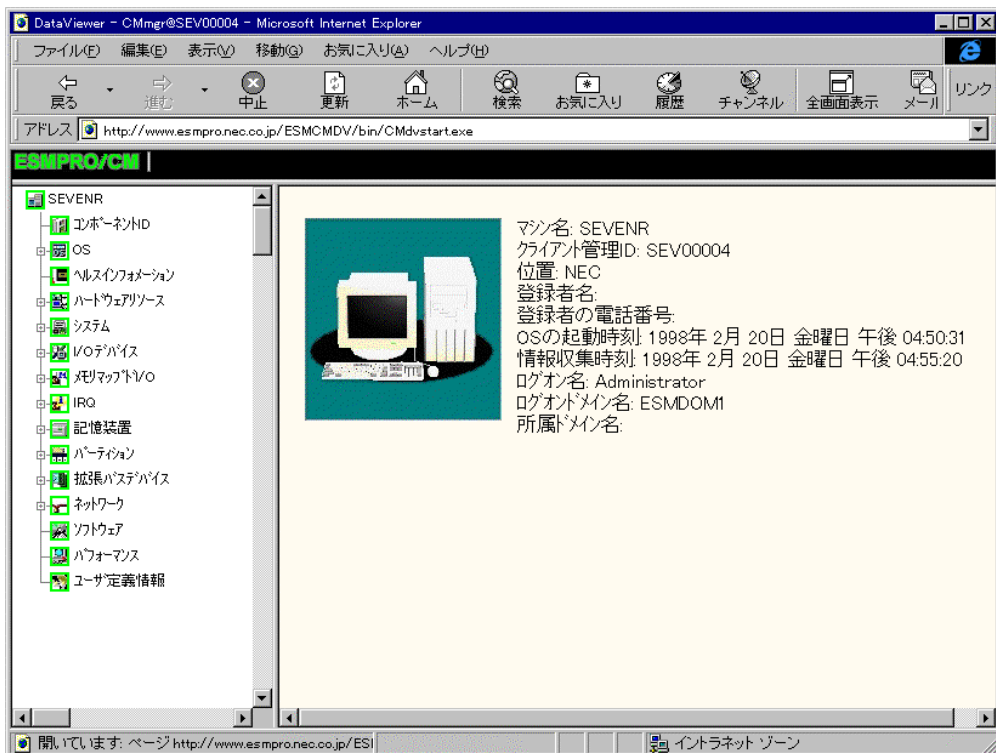
1. スタートページで“2D-グラフィック形式”を選択してください。
2. CMマネージャがセットアップされているマシン名およびポート番号を入力し、<OK>ボタンを押してください。ポート番号は、CMマネージャ側の設定を変更していなければ、既定値のままにしてください。



3. 構成情報を表示するクライアントを選択し、<OK>ボタンを押してください。



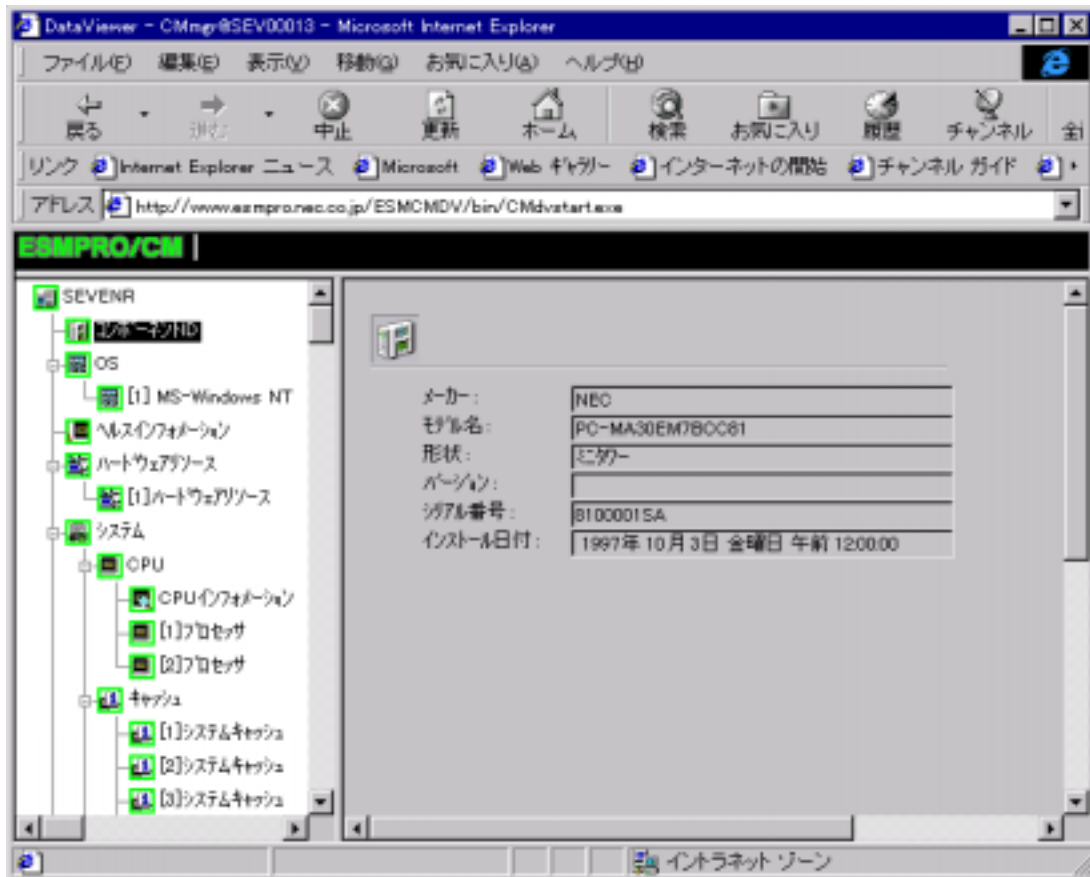
4. 次のようなページが表示されます。使用するWebブラウザによっては、ツリーの構築に数分を要することもあります。



画面上部の“ESMPRO/CM”をクリックするとスタートページに戻ることができます。続


合ビューア (オペレーションウィンドウ) のページから表示している場合には、「ESMPRO」をクリックすると、統合ビューアのページに戻ることができます。

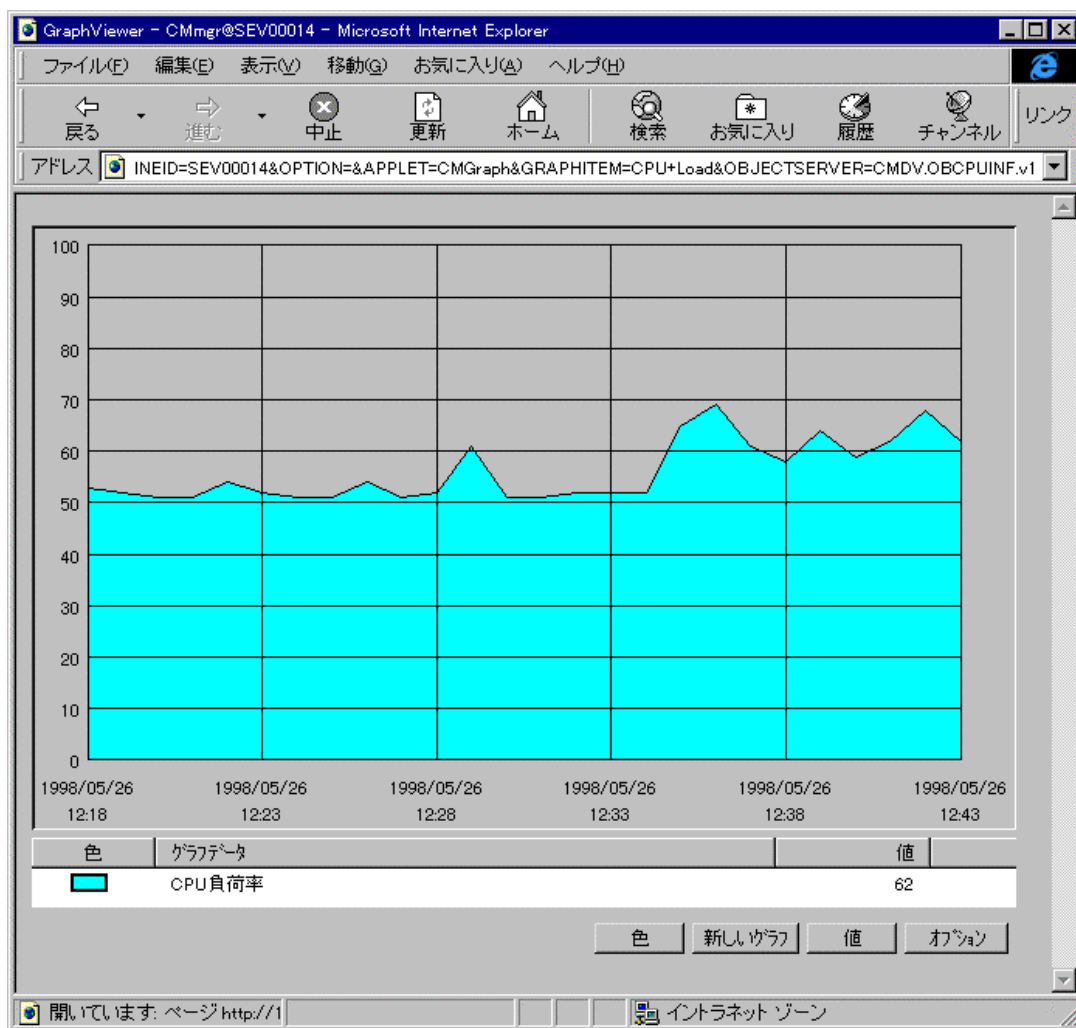
5. ツリー上の「+」をクリックして展開し、目的の項目を選択してください。画面右側に選択した項目の詳細情報が表示されます。例えば次のような画面が表示されます。



各項目の説明については、「6.3 クライアント情報」を参照してください。

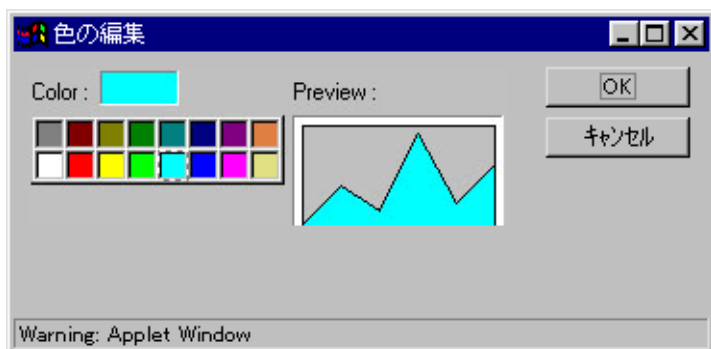
8.4.5 グラフビューア

2D-グラフィック形式でデータビューアを表示した場合、右側の詳細情報画面中のグラフボタンを押すと、グラフビューアのページが表示されます。グラフボタンはグラフ表示可能な項目の横に表示されます。使用するWebブラウザによっては、グラフビューアページの表示に数分を要する場合があります。

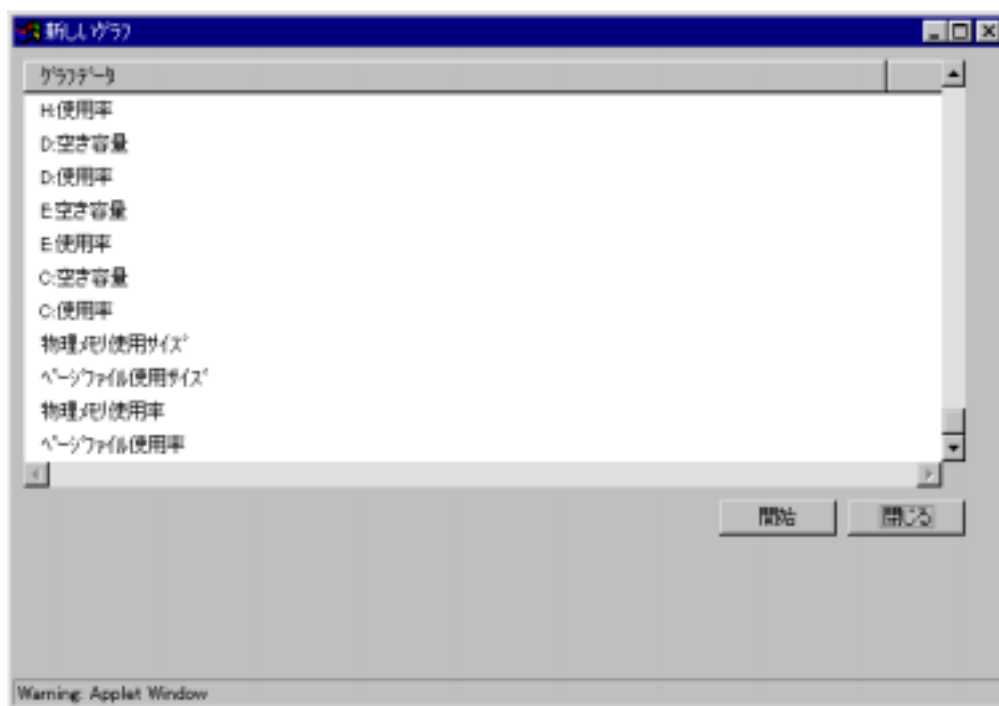


グラフビューアではグラフの色、表示するグラフデータ、データの蓄積時間および水平/垂直ラベルの表示の有無を設定できます。これらの設定を行うには、グラフビューアの右下のボタンをクリックしてください。

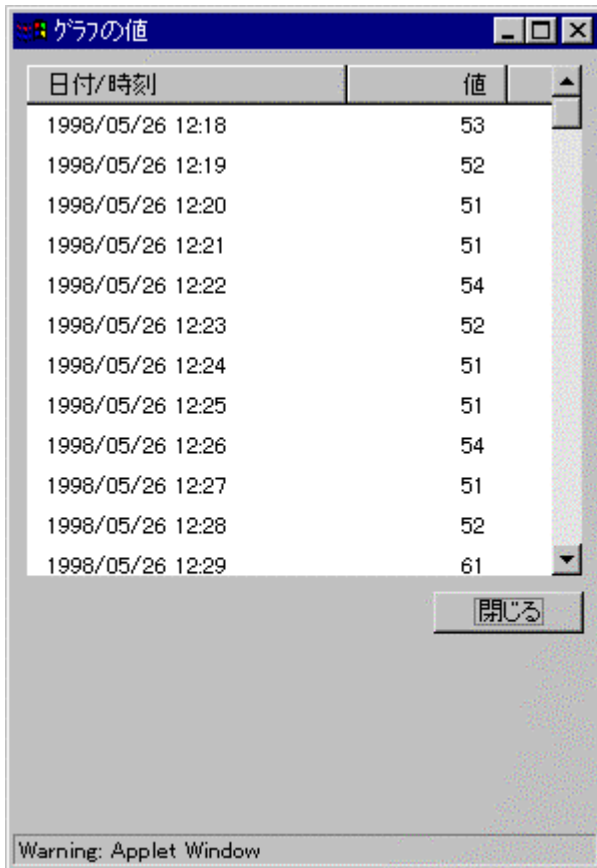
1. <色>ボタン：グラフの色を変更するときに使います。
表示したい色を選択し、<OK>ボタンを押してください。



2. <新しいグラフ>ボタン：グラフビューアで表示可能なグラフデータを表示します。グラフデータを選択し、<開始>ボタンを押してください。新たにグラフビューアページを表示します。



3. <値>ボタン：グラフビューアに表示しているデータの一覧を表示します。



4. <オプション>ボタン：グラフビューアで表示する時間の最大幅を設定します。蓄積時間を変更することで、最大幅を設定できます。保持しているデータが設定した時間幅よりも短い場合は、その保持しているデータの幅だけ表示されます。データは、24時間まで蓄積することができます。蓄積時間は1、2、4、8、12、24時間の中から選択してください。
- また、水平ラベル、垂直ラベルを表示するかどうかも設定できます。



8.5 ESMPRO/ServerManager ExtensionPack との連携

ESMRPO/ServerManager ExtensionPackと連携することにより、Webブラウザに表示した統合ビューア（オペレーションウィンドウ）のページから、CMデータビューアのページを表示することができます。

8.5.1 準備

1. 必ず、WebAccessより先にESMPRO/ServerManager ExtensionPackをセットアップしてください。
2. 「14.1.1 クライアントPCの自動発見」を参照して、WebAccessをセットアップしたWWWサーバ上でCMクライアントがセットアップされたクライアントを検出してください。

以上で、準備は完了です。

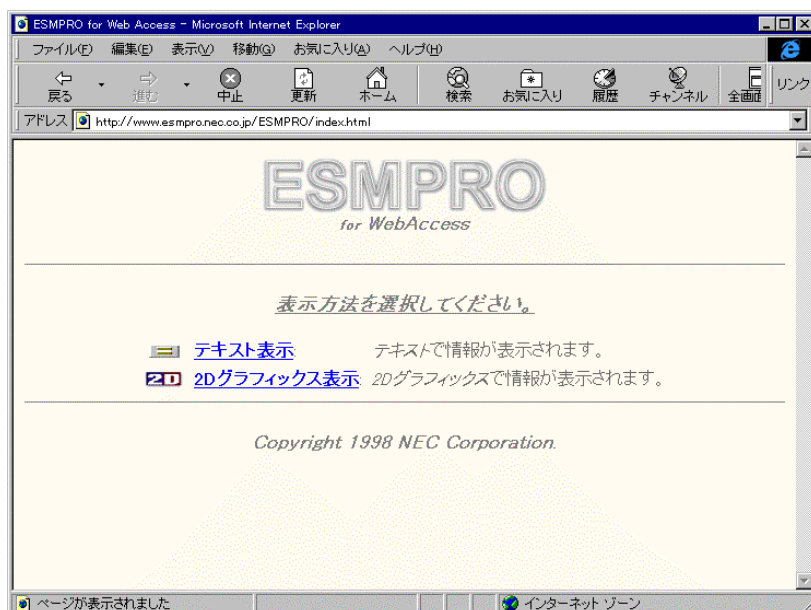
8.5.2 データビューアのページを表示する

1. オペレーションウィンドウのページを表示します。ブラウザを起動し、URLを次のように設定してください。

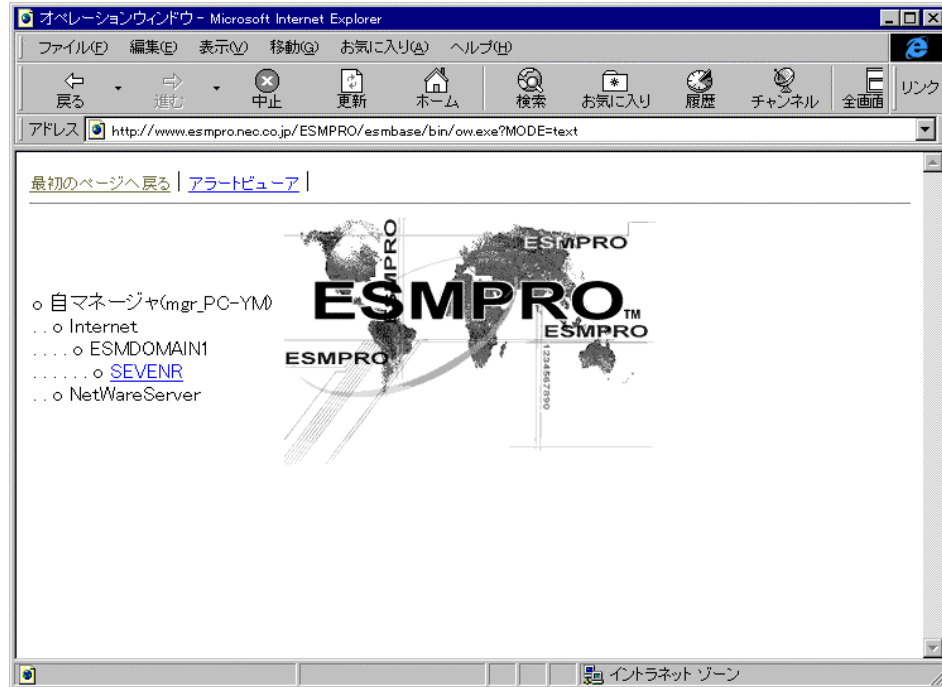
<http://Server-name/ESMPRO/index.html>

（“Server-name”には、WebAccessをインストールしているサーバ名を指定してください。）

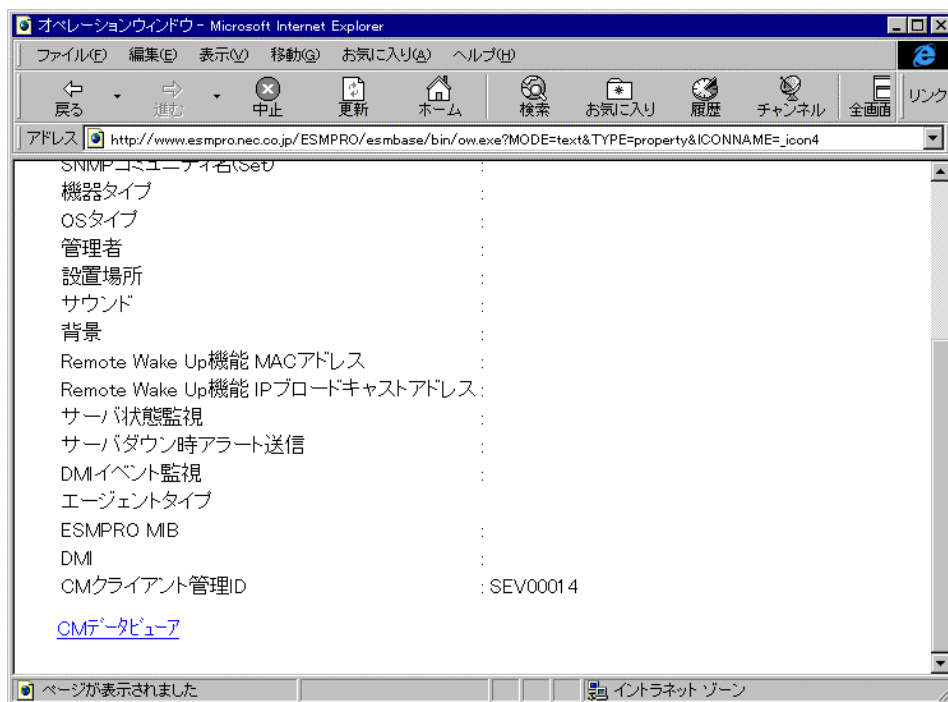
2. 表示形式（テキスト表示／2D-グラフィックス表示）を選択する画面が表示されます。表示形式を選択してください。



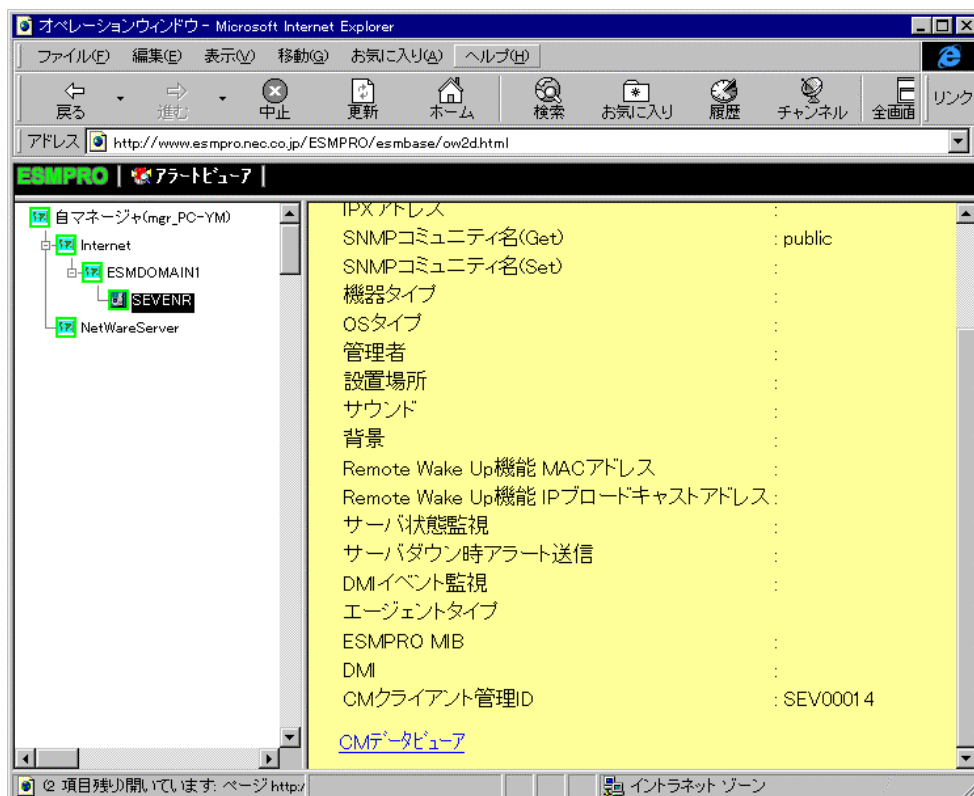
3. テキスト表示を選択した場合、次のようなページが表示されます。画面左側に表示されたマシン名の一覧から、構成情報を表示したいマシン名をクリックしてください。



4. 次のようなページが表示されます。画面下の“CMデータビューア”をクリックしてください。CMデータビューアのページが表示されます。



5. 2で2D-グラフィックス表示を選択した場合、次のような画面が表示されます。画面左側のツリーから、構成情報を表示したいマシン名を選択し、右側画面の“CMデータビューア”をクリックしてください。CMデータビューアのページが表示されます。



8.6 注意事項

以下の注意事項があります。

1. CMデータビューアとWebAccessとが一つのマシンにインストールされている場合、CMデータビューアをアンインストールするとWebAccessが正しく動作しなくなります。CMデータビューアだけをアンインストールしたい場合、CMデータビューアをアンインストールした後、WebAccessをアンインストールし、再度インストールしてください。
2. ESMPRO/ServerManager ExtensionPackとの連携を行っている場合、ESMPRO/ServerManager ExtensionPackをアンインストールするとWebAccessが正しく動作しなくなります。ESMPRO/ServerManager ExtensionPackだけをアンインストールしたい場合、WebAccessを先にアンインストールし、次にESMPRO/ServerManager ExtensionPackをアンインストールしてからWebAccessを再度インストールしてください。